

事務事業名		林道維持管理事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道グループ	課長名	細木 浩之
	施策名	〈37〉林業の振興		担当者名	山本 大策	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。		(内線)	2403
	基本事業名	〈112〉適正な森林管理		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	林道維持管理事業	
目的:対象	市内の森林	意図	適正に管理する。		0 1 3 0 0 1	中事業	林道維持管理事業
					1 0 2 5 0 1	中事業	林道維持管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H28 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
①林道の維持管理 ②林道の除草作業等委託 ③集落間除草受付・支払 ④林道橋点検業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	①林道の除草委託 林道の維持修繕作業 ③集落間除草受付・支払	②	①林道の除草委託 ②林道の維持修繕作業 ③集落間除草受付・支払 ④林道橋点検業務			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 支払件数(工事・修繕・委託)	件	6	39	68	60
	イ 契約件数	件	2	1	2	1
	ウ 補修箇所数	箇所	1	22	35	30
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	①林業の従事者 ②市民	ア 森林組合の木材生産量	m ³	15,089.0	12,599.0	15,029.0	15,000.0
		イ 人口	人	38,506	37,794	37,012	37,496
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
①林道の適正な維持を行い、林業従事者の木材生産量が向上する。	ア 森林組合の木材生産量	m ³	15,089.0	12,599.0	15,029.0	15,000.0	
	イ 森林組合の施業面積(間伐)	ha	60.7	101.7	86.9	100.0	
	ウ 森林組合の施業面積(新植)	ha	27	16	19	15	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
修繕費9,201千円、手数料4,956千円、委託料1102千円 合計額15,259千円 ※H28年度より市全体の予算額	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	1,508	6,911	15,259	3,908
	事業費計(A)	千円	1,508	6,911	15,259	3,908
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	30	30	100	
	人件費計(B)	千円	119	122	433	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,627	7,033	15,692	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・林道の供用開始より数年経過し、補修が必要な箇所がある。 ・林道橋の個別施設計画を策定し、定期点検を行うこととなっている	必要な箇所について補修を行っている。	維持要望が多数寄せられる。

事務事業名	林道維持管理事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現在最低限で適正な管理をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止した場合、木材の搬出に支障をきたし、林業振興の妨げとなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		管理業務であり統廃合できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		林道の周辺除草はシルバー人材等にお願いしている。直営作業員や地元自治会に除草業務委託できれば削減余地はある。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		市が管理すべき林道であり、外部委託できるものは委託しているため、削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		公道であるため、誰でも利用できるため公平であり、市が管理すべきものである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
	管理業務であり予算内で適正に維持することが重要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		